

事業番号	06 05 01	事業改善シート（28年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	自然公園施設整備事業費			担当課	部局	環境部	
総合5か年計画	プロジェクト	2-1-2 農山村産業クラスター形成プロジェクト 6-4-2 誇りある暮らし実現プロジェクト		課・局・室	自然保護課		
	施策の総合的展開	3-2 豊かな自然環境の保全 2 自然環境の保全		E-mail	shizenhogo@pref.nagano.lg.jp		
	実施期間			S33 ~			
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	3-2 活力と循環の信州経済の創出					
	施策展開	3-(1) 経済構造の転換 ア 県内産業の競争力強化 カ 観光の振興					

1 事業の概要

目指す姿	自然公園等の自然環境や優れた風致景観を維持し後世に伝えるとともに、多くの県民が自然と触れ合える施設の整備を進める。										
現状（予算編成時）	<ul style="list-style-type: none"> ○自然公園等における県有施設の老朽化に伴う改修及び維持管理 ○国立、国定公園内の市町村が管理する自然公園施設の改修等への支援 ○山小屋事業者等が行う管理者が不明確な登山道等の維持管理への支援 ○自然公園内におけるし尿処理の改善、ニホンジカによる高山植物の食害防止への支援 										
県が関与する理由	県でなければ実施不可（法令等義務）	【左記の説明、根拠法令等】 自然公園法、自然環境整備支援事業補助金交付要綱・取扱要領、民間との協働による山岳環境保全事業交付要綱・実施要領									
成果目標・事業内容	① 成果目標(H28) 自然公園内の登山道の危険箇所解消数 65箇所(累計100箇所)										
	② 事業内容 (単位:千円)										
	項目	実施方法	H28事業実績	H28(当初)	H28(決算)	H29(当初)					
	自然公園施設等整備事業	直接	・塩くれ場公衆便所(中信高原線歩道)の改修、佐久高原線歩道登山道整備ほか(5箇所)	9,868	9,207	10,297					
	自然環境整備支援事業	補助	・国立、国定公園内の市町村が管理する自然公園施設の改修、及び長距離自然歩道施設の改修への補助(14件)	118,263	30,224	93,031					
	県立自然公園整備支援事業	補助	・県立自然公園内の市町村及び山小屋事業者が管理する歩道及びトイレの改修への補助	-	-	21,998					
民間との協働による山岳環境保全事業	直接補助	・自然公園内で市町村が管理する自然公園施設の改修等への補助及び山小屋事業者が行う登山道の維持管理への補助(6件)	8,000	5,715	7,000						
山岳環境整備推進事業	補助	・県が定めた「山岳の環境保全及び適正利用の方針」にのっとり、山城ごとの関係者が合意した山城の将来像を目指した登山道整備(修繕)を推進(補助:11件、連絡会の開催:3回)	50,200	27,167	50,406						
合計			186,331	72,313	182,732						
事業コスト	区分(単位:千円)	27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況						
	前年度繰越	0	38,404	45,733	項目	H26末	H27末	H28		H29	
	当初予算	117,412	186,331	182,732	目標	成果	達成状況	目標			
	補正予算	21,910	-62,783	0	施設等整備箇所数	26箇所	35箇所	-	-	-	-
	合計(A)	139,322	161,952	228,465	山岳環境の保全と適正利用のあり方の合意地域	-	5地域	-	-	-	-
	一般財源	24,043	21,265	48,202	登山道の危険箇所の解消数(累計)	-	35箇所	100箇所	93箇所	未達成	143箇所
	県債	0	6,000	0							
	国庫支出金	105,879	110,787	110,028							
	その他	9,400	23,900	70,235							
	決算額(B)	98,242	72,313								
概算職員数(人)	3.50	3.50	3.50								
概算人件費(C)	28,966	27,699	27,699								
概算事業費(B(A)+C)	127,208	100,012	256,164								
目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度65箇所(累計100箇所)を目標として事業を実施したが、年度内解消数は58箇所にとどまった。 ・年度内に63箇所に着手したが、うち5箇所が入札不調等のため繰越となり、目標達成に至らなかった。 										

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	「山岳の環境保全及び適正利用の方針」に基づき、自然環境の保全と安全な登山道利用を図るため、引き続き危険箇所の解消に向けて、山城関係者と協働して集中的整備に取り組む。